平成29年度
第5回 長崎地域医療セミナー
in GOTO

8月20日（日）～ 8月22日（火）

【主催】

長崎大学、長崎地域医療セミナー実行委員会

【共催】

五島市、五島医師会、長崎県五島中央病院

長崎純心大学医療・福祉連携センター

思い出に残るセミナーを目指して

「長崎地域医療セミナー in GOTO」は今年度で5回目を迎え、このセミナーの前身である「長崎家庭医療集中セミナーin GOTO」の初回開催から数えて12年目となります。このような長きにわたりこのセミナーが開催され、家庭医療や地域医療へ情熱を持つ若き皆さんが早期に地域へふれあう機会として、大きな役割を果たしていることは大きな喜びです。

このセミナーに参加するみなさんには心よりのお祝いと歓迎の気持ちを伝えたいと思います。島には自然、海の幸、歴史等々、様々な魅力があります。美しい夏の海はその代表格の一つです。セミナーで学ぶことも大切ですが、そのような出会いもぜひ大切にしていただきたいと思います。

地域医療においては住民の心理的背景や社会的背景を考慮しながらあらゆる健康問題に対応していかなければならず、医療のみではなく保健、介護、福祉、行政など多くの方との信頼関係(パートナーシップ)が重要な要素となります。さらに、こうした活動は患者個人に止まらず、予防や健康教育などに取り組むことによって地域全体の健康を考えていきます。すなわち「人」自身を全体的に診ること、そして地域の健康を維持することが仕事ということになります。このセミナーには、実際に現場で活躍されている先生方をお招きしておりますので、知識だけではなく、是非地域医療の本質的な部分を学んで欲しいと思います。そして将来、このセミナーで学んだことをいつかは実際の現場で活かしてもらえれば、これに勝る喜びはありません。

また、このセミナーは将来において日本全国で地域医療を担う者同士のまたとない情報交換の場でもあります。どうか様々なものを吸収し、語り合って、多くの友人とのネットワークを広めて下さい。このセミナーが参加者皆さんにとって有意義で、そして心に残るようなイベントになることを切に望みます。

第5回 長崎地域医療セミナー in GOTO 実行委員会

委員長　浦 繁郎

初めまして。学生実行委員長の塚崎晃です。

今年度の「第５回長崎地域医療セミナー in GOTO」には学生実行委員を中心に参加学生も大きく関わっています。以前までは先生方が中心となって企画や運営をしていただいておりましたが、もっと地域医療について深く学び、何が必要かを考えるために、学生が中心となってセミナーを企画するようになりました。

今回の「第５回長崎地域医療セミナー　in GOTO」では、これまでのセミナーを受け継ぎながら、学生からの「こんな話を聞いてみたい！」「こんな実習をしてみたい！」という思いを、企画に反映させてまいりました。また、昨年のセミナー参加者の意見や学生実行委員会の反省を踏まえて、セミナーがより良いものになるよう準備を重ねてきました。

そして、今年度も長崎純心大学の方々にも学生実行委員に加わっていただき、共に今回のセミナーを作り上げました。医学部の学生だけではどうしても視野が狭くなってしまいがちですが、純心大学の方々の福祉などの視点が加わることで、地域医療をより広い視野で学べる場になると思います。

また、今回のセミナーには例年以上に他大学から参加される方が多くおられるので、より多様性に富んだ意見交換の場になることと思います。

地域医療の現場で働き患者さんと向き合っていくにあたり、様々な職種の方と関わり協力していくことはとても重要になります。今回のセミナーを通して、多職種が現場でどのように連携して医療を行っているのかということを、実際の地域医療の現場や講演で学んでいただければと思っています。また、セミナーには講義とワークショップだけでなく、懇親会や地域体験実習（アクティビティ）も盛り込まれています。このセミナーを通じて将来同じ現場で働く仲間とともに学び、語り合い、かけがえのない五島での３日間にしていきたいと思っています。

今回のセミナーを企画運営させていただくにあたり、多数のご指導を賜りました長崎大学や長崎純心大学の先生方、ご多忙の折にも関わらずセミナーに参加頂く講師の先生方、このセミナーを支えてくださるすべての方々に厚くお礼を申し上げます。

このセミナーに関わる全ての皆様が多くのことを感じ、それをまた次の後輩たちに伝えていけるような実りある３日間にしていけるよう祈念し、学生実行委員長の巻頭言とさせていただきます。

第５回　長崎地域医療セミナー　in GOTO 学生実行委員会

委員長　塚崎晃

目次

概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １～２ページ

スケジュール表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３～６ページ

参加者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７ページ

グループ分け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８ページ

配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９～１０ページ

宿泊施設見取り図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１ページ

宿泊分け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２ページ

実習施設紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３ページ

地域体験実習案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４ページ

注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５ページ

富江バラモン会紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６ページ

セミナーポスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７ページ

第5回 長崎地域医療セミナー in GOTO

【目的】

本セミナーは、地域での活躍を志す学生さんに医療や福祉を通じた地域との早期の関わり合いを提供し、離島やへき地で貢献できる人材の育成を目指しています。

【対象】

長崎大学医学部医学科 1～3年生

長崎純心大学福祉系学科 1～4年生

地域医療や地域包括ケアに関心のある全国の医療福祉系学生

【基本事項】

1．日　時：平成29年8月20日（日）～平成29年8月22日（火）

2．場　所：長崎県五島市三尾野町「五島市福江総合福祉保健センター」

長崎県五島市富江町「五島市富江町公民館」

3．費　用：10,000円（セミナー参加費、食費、懇親会費、宿泊費を含む）

5．服装について

セミナー会場ではネクタイ、スーツ、白衣等は不要です。動きやすい服装で参加して下さい。五島市への表敬訪問時もスーツなどは必要ありませんが、大学生として良識ある格好を心がけて下さい(半ズボンやスリッパなどは厳禁です)。

6．必要物品

筆記用具とメモ帳を持参して下さい。聴診器などの診察器具は必要ありません。また、特に持ち込みの制限はありません。しかしながら、未成年の学生さんによる酒類およびタバコの持ち込みは、違法な飲酒または喫煙の誤解を招く可能性があるため控えてください。

また、開催時期は海水浴などの海洋レジャーを楽しむには最適な季節です。宿泊するさんさん富江キャンプ村には海水浴場などのアウトドアスポーツが楽しめる場所もありますし、海辺でのレクレーションも計画していますので是非、水着や海の必須アイテムをご用意下さい。

宿泊施設はキャンプ施設であり、一般のビジネスホテルのようなパジャマやアメニティは常備されていません。シャンプーやボディーソープ、タオルなどは設置されていませんので必ず各自で準備をしてください。

7．地域体験実習について

3日目(8月22日)の午後に地域体験実習を企画しています。事前に希望アンケートを行いますので、忘れずに提出してください。

8．病院見学と表敬訪問について

五島市内の医療機関および福祉施設の見学と五島市役所への表敬訪問を予定しています。

9．連絡先

何かトラブルが発生した場合や急な変更などについては必ず12ページの注意事項にある連絡先まで直ちに知らせて下さい。

【主催】

長崎大学、長崎地域医療セミナー実行委員会

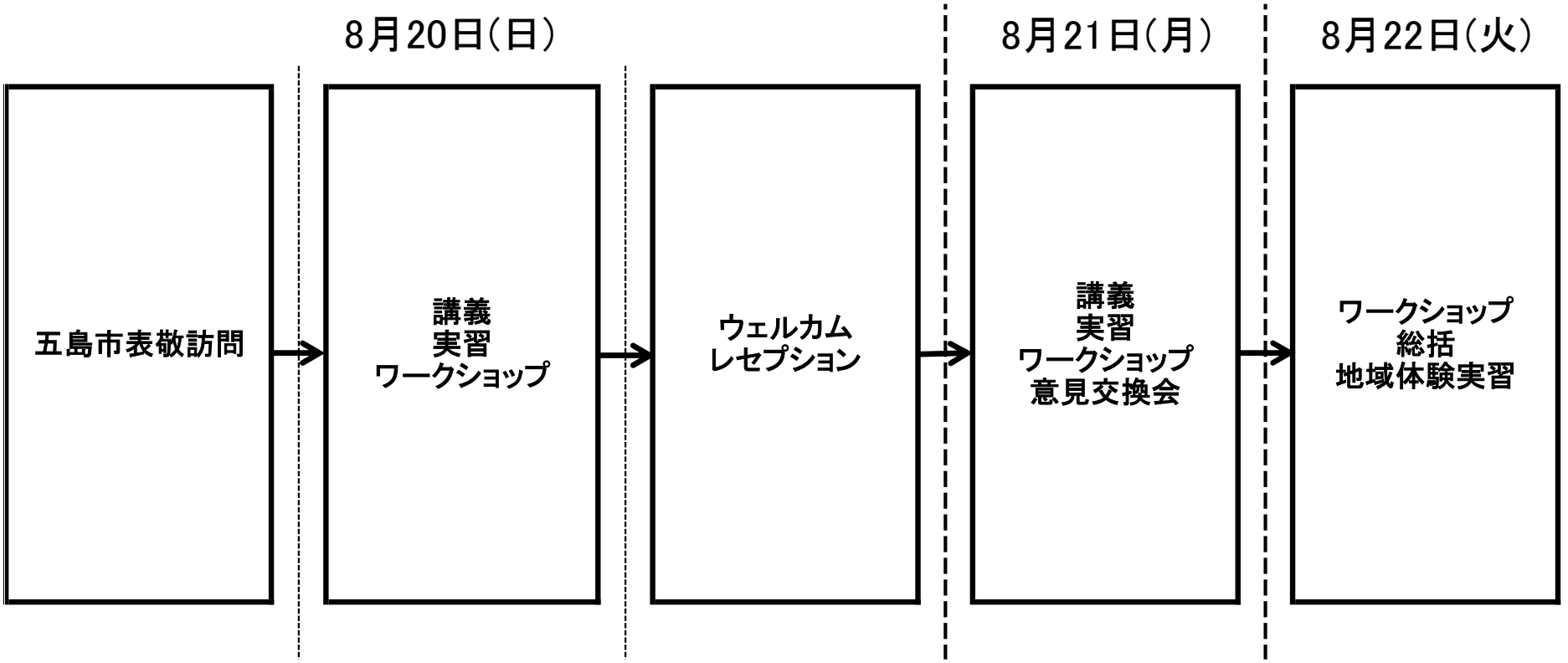
【共催】

五島市、五島医師会、長崎県五島中央病院、長崎純心大学医療･福祉連携センター

【協力施設および団体】

長崎県医師会、長崎医学同窓会、長崎県奈留医療センター、長崎県富江病院、
井上内科小児科医院、お告げのマリア修道会 聖マリア病院、五島市伊福貴診療所、
五島市久賀診療所、徳洲会グループ、長崎みなとメディカルセンター、
特別養護老人ホーム只狩荘、五島市消防本部、富江バラモン会、
NPO 法人 島の医療とくらしを考える会、海上タクシー奈留、トヨタレンタカー福江店、
五島観光タクシー、奈留タクシー、久賀タクシー、さんさんとみえキャンプ村、
富江たっしゃかランド、山下医科器械株式会社五島営業所

第5回 長崎地域医療セミナー in GOTO



8月20日(日) セミナー1日目

7:00	7:15	長崎港 大波止ターミナル集合
8:00	8:05	長崎港出発(九州商船フェリー)
9:00		～
10:00		
11:00	11:15	福江港着
		移動
12:00	12:00	五島市表敬訪問(五島市福江総合福祉保健センター)
	12:30	食事・昼休み
13:00	13:00	開会挨拶:長崎大学離島医療研究所 所長 前田 隆浩・学生実行委員会 委員長 塚崎 晃 アイスブレーキング　学生実行委員会
	13:45	ワークショップ①　全体説明・症例提示　学生実行委員会
14:00	13:45 14:45	講義①　徳洲会グループ　家庭医療部　佐野 潔 先生 「これから始まる家庭医療専門医＜あなたは何ができるか？何をすべきか？＞」
		休憩
15:00	15:00 15:30	講義②　長崎みなとメディカルセンター　宮川　江利 先生 「急性期病院におけるソーシャルワーク」
16:00	15:30 16:30	ワークショップ②　事例検討　学生実行委員会
	16:30 17:00	講義③　井上内科小児科医院　井上　効子 先生 「当院における在宅医療の実際」
17:00		移動・チェックイン等
18:00	18:00	ウェルカムレセプション
19:00		さんさん富江キャンプ村
	20:00	
20:00	20:00	入浴等
21:00		談話室(フェニックス)開放
	22:00	

8月21日(月) セミナー2日目

7:00	7:00	朝食・準備など
8:00		移動・会場設営など
9:00	9:00 9:30	講義④　長崎県上五島病院　八坂 貴宏 先生 上五島地域における地域包括ケアの現状と将来　～最も少子高齢化の進む2次医療圏において～
	9:30 10:00	講義⑤　五島市長寿介護課　大山 智保子　先生 「五島市の高齢者支援の現状」
10:00		休憩
11:00	10:15 11:30	講義⑥・実習①　長崎大学病院　救命救急センター　山下 和範 先生 「大切な人を救うために　胸骨圧迫とAED」
	11:30 12:00	「ワークショップ③　事例検討　学生実行委員会」
12:00	12:00	昼食・お昼休み
13:00 14:00 15:00	12:30 16:00	講義⑦　各医療機関および施設について 実習②　島内医療機関実習 1．長崎県五島中央病院 2・五島市長寿介護課 3．特別養護老人ホーム只狩荘 4．聖マリア病院 5．長崎県奈留医療センター 6．久賀診療所 7．伊福貴診療所
16:00	16:00 17:00	「ワークショップ④　事例検討　学生実行委員会」
17:00	17:00 18:00	移動・入浴など
18:00 19:00	18:00 20:00	意見交換会 富江たっしゃかランド
20:00		片付け・移動など
21:00	21:00 22:00	談話室(フェニックス)開放

8月22日(火) セミナー3日目

7:00	7:00	朝食・準備など
	8:00	
8:00		チェックアクト・移動
	8:30	「ワークショップ⑤　学生実行委員会」
9:00		
	9:30	
	9:30	「ワークショップ⑥　発表(前半)」
10:00		
	10:30	
	10:45	休憩
11:00	10:45	「ワークショップ⑦　発表(後半)」
12:00	12:00	
	12:15	総括・アンケート記入
	12:30	
	12:30	昼食 「実習③ 地域体験実習」
13:00		
14:00		
15:00		
16:00	16:00	福江港着
	16:30	福江港発　九州商船(ジェットフォイル)
	16:50	福江港発　九州商船(フェリー)
17:00		

参加者名簿

No.		氏名	フリガナ	性別	大学名	学部名	学科名	学年
1	1	粟津　学	アワヅ　マナブ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
2	2	岩下　和生	イワシタ　カズキ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
3	3	宇佐　俊哉	ウサ　トシヤ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
4	4	空閑　康平	クガ　コウヘイ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
5	5	坂口　純	サカグチ　ジュン	男	長崎大学	医学部	医学科	1
6	6	茂山　航大	シゲヤマ　コウダイ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
7	7	築城　元	ツイキ　ゲン	男	長崎大学	医学部	医学科	1
8	8	出口　大智	デグチ　タイチ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
9	9	本田　哲朗	ホンダ　テツロウ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
10	10	本田　大晶	ホンダ　ヒロアキ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
11	11	宮崎　咲月	ミヤザキ　サツキ	女	長崎大学	医学部	医学科	1
12	12	森崎　大空	モリサキ　ソラ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
13	13	米倉　大輔	ヨネクラ　ダイスケ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
14	14	柏田　芙実佳	カシワダ　フミカ	女	長崎大学	医学部	医学科	1
15	15	太田　悠生	オオタ　ユウキ	男	長崎大学	医学部	医学科	1
16	16	井本　光信	イモト　ミツノブ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
17	17	駒走　昌也	コマバシリ　マサヤ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
18	18	竹井　雅人	タケイ　マサト	男	長崎大学	医学部	医学科	2
19	19	中島　誉也	ナカシマ　タカヤ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
20	20	畑原　大地	ハタハラ　ダイチ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
21	21	古川　壮真	フルカワ　ソウマ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
22	22	山口　慧世	ヤマグチ　ケイセイ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
23	23	下　真也	シモ　シンヤ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
24	24	増田　拡	マスダ　カク	男	長崎大学	医学部	医学科	2
25	25	松本　善敬	マツモト　ヨシタカ	男	長崎大学	医学部	医学科	2
26	26	五島　漱志朗	ゴシマ　ソウシロウ	男	長崎大学	医学部	医学科	3
27	27	坂口　倫花	サカグチ　ミチカ	女	長崎大学	医学部	医学科	3
28	28	高畠　侑也	タカハタ　ユウヤ	男	長崎大学	医学部	医学科	3
29	29	塚崎　晃	ツカサキ　アキラ	男	長崎大学	医学部	医学科	3
30	30	中村　理貴	ナカムラ　マサタカ	男	長崎大学	医学部	医学科	3
31	31	古川　慧月	フルカワ　エルナ	女	長崎大学	医学部	医学科	3
32	32	前田　祐斗	マエダ　ユウト	男	長崎大学	医学部	医学科	3
33	33	吉留　愛	ヨシドメ　アイ	女	長崎大学	医学部	医学科	3
34	1	江頭　　明	エガシラ　アキラ	男	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	1
35	2	後藤　麗奈	ゴトウ　レイナ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	1
36	3	末次　結希	スエツグ　ユキ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	1
37	4	熊谷　早織	クマガイ　サオリ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	2
38	5	洗川　沙希	アライカワ　サキ	女	長崎純心大学	人文学部	人間心理学科	3
39	6	石尾　千穂	イシオ　チホ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
40	7	尾畑　郁美	オバタ　イクミ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
41	8	重富　美希	シゲトミ　ミキ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
42	9	長友　紗衣	ナガトモ　サエ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
43	10	松尾　美佳	マツオ　ミカ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
44	11	森谷　志帆	モリタニ　シホ	女	長崎純心大学	人文学部	地域包括支援学科	4
45	1	中馬　洋介	チュウマン ヨウスケ	男	福岡大学	医学部	医学科	1
46	2	久保田　早紀	クボタ サキ	女	福岡大学	医学部	医学科	1
47	3	佐々木　慧利	ササキ　エリ	女	福岡大学	医学部	医学科	1
48	4	福島　友紀	フクシマ トモノリ	男	福岡大学	医学部	医学科	1
49	5	武藤　昂	ムトウ　タカシ	男	福岡大学	医学部	医学科	1
50	6	井上　喜仁	イノウエ ヨシヒト	男	福岡大学	医学部	医学科	1
51	7	桑野　佑里恵	クワノ ユリエ	女	福岡大学	医学部	医学科	1
52	8	大牟田　陽俊	オオムタ　ヨウシュン	男	福岡大学	医学部	医学科	3
53	1	阿野　悟士	アノ サトシ	男	岡山大学	医学部	医学科	3
54	1	西村　優	ニシムラ ユウ	女	上智大学	総合人間科学部	社会福祉学科	4

グループ

① 桃色				
尾畑郁美	熊谷早織	中馬洋介	桑野佑里恵	吉留愛
太田悠生	築城元	粟津学	大牟田陽俊	

② 水色				
塚崎晃	松尾美佳	末次結希	福島友紀	中村理貴
竹井雅人	井本光信	出口大智	茂山航大	

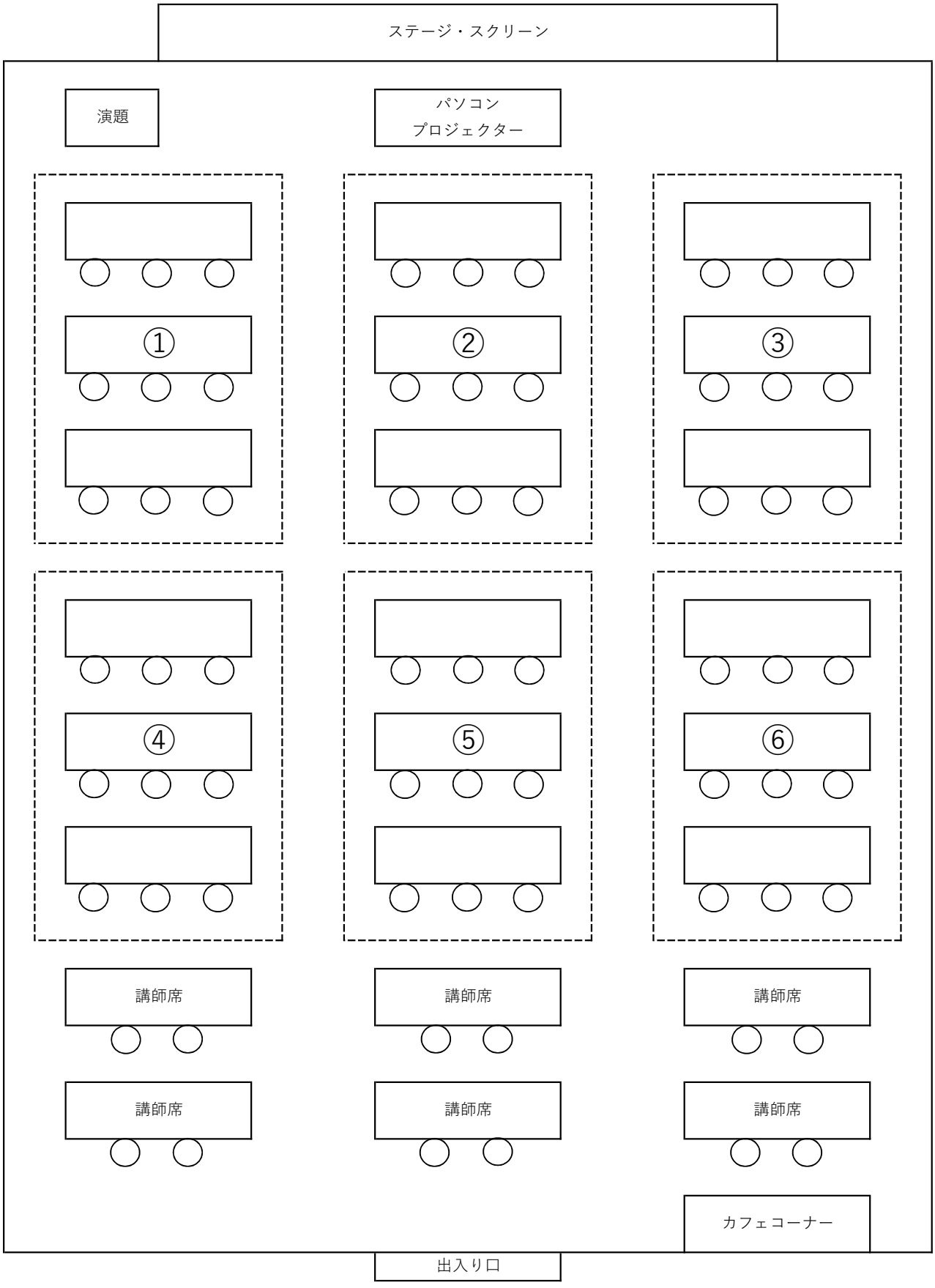
③ 橙色				
洗川沙希	畑原大地	長友紗衣	佐々木慧利	前田祐斗
宮崎咲月	森崎大空	宇佐俊哉	駒走昌也	

④ 緑色				
五島漱志朗	石尾千穂	西村優	井上喜仁	坂口倫花
松本喜敬	中島誉也	空閑康平	本田大晶	

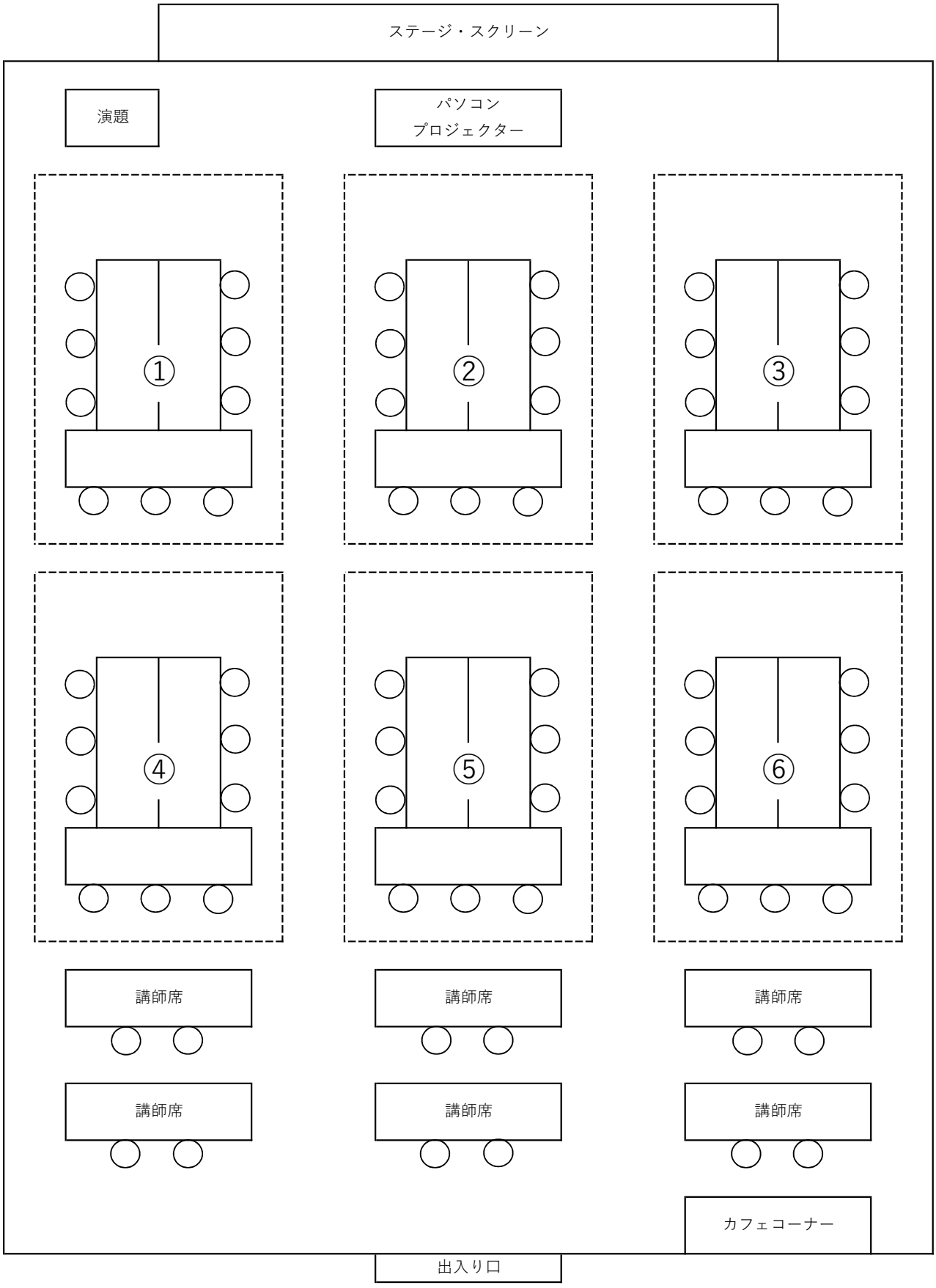
⑤ 黄色				
重富美希	山口慧世	江頭明	久保田早紀	高畠侑也
増田拡	古川壮真	柏田芙実佳	米倉大輔	

⑥ 紫色				
古川慧月	後藤麗奈	森谷志帆	武藤昂	下真也
本田哲朗	岩下和生	坂口純	阿野悟士	

富江公民館会場配置図(講義)



富江公民館会場配置図(WS)



宿泊

研修棟(30名)				
粟津学	岩下和生	宇佐俊哉	空閑康平	坂口純
茂山航大	築城元	出口大智	本田哲朗	本田大晶
大牟田陽俊	森崎大空	米倉大輔	井本光信	駒走昌也
阿野悟士	中島誉也	古川壮真	下真也	増田拡
松本善敬	高畠侑也	太田悠生	中村理貴	前田祐斗
江頭明	中馬洋介	福島友紀	武藤昂	井上喜仁

男島(5名)				
畑原大地	山口慧世	五島漱志朗	塚崎晃	竹井雅人

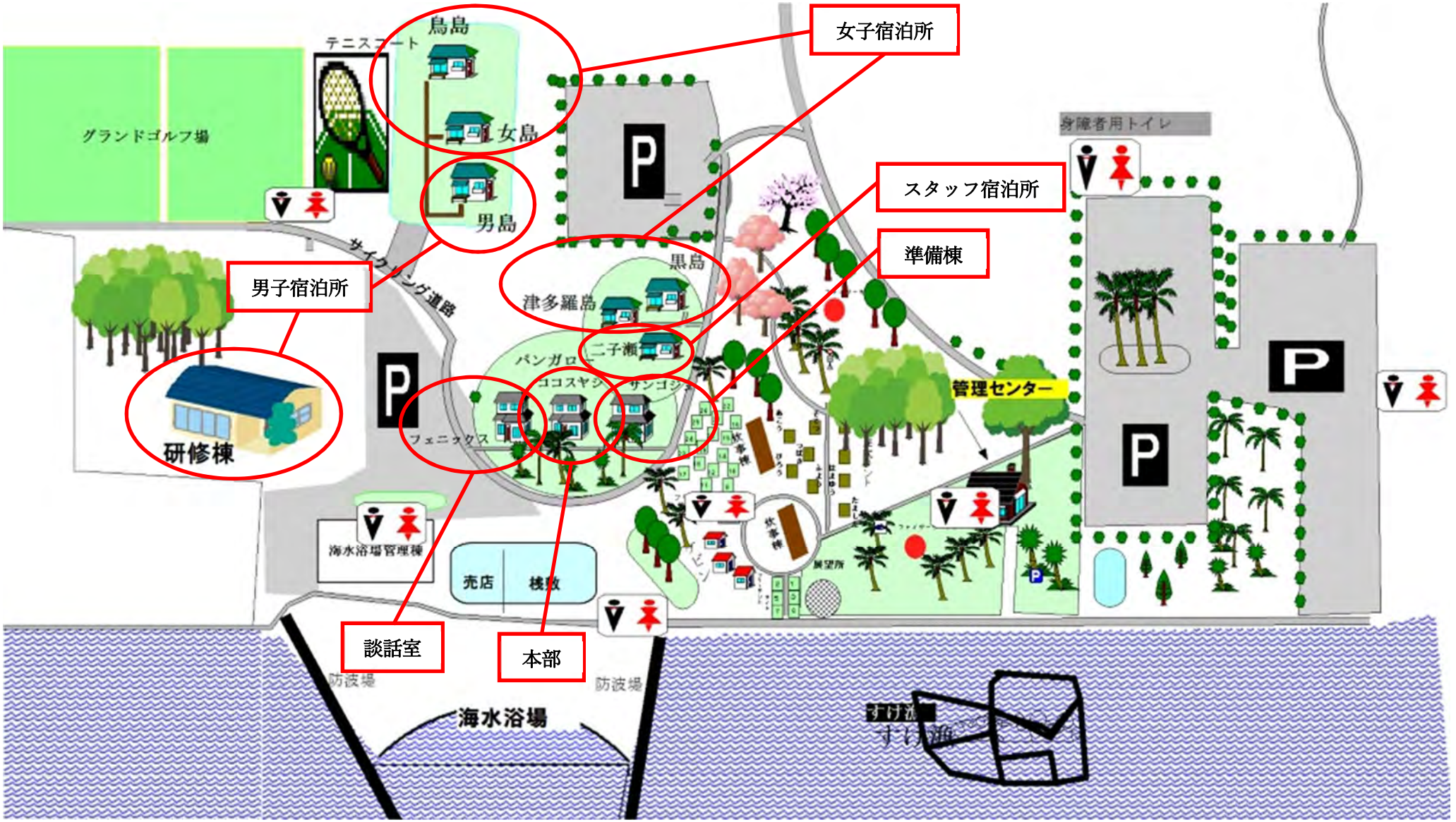
女島(5名)				
宮崎咲月	柏田芙実佳	坂口倫花	古川慧月	吉留愛

鳥島(5名)				
久保田早紀	佐々木慧利	桑野佑里恵	後藤麗奈	末次結希

黒島(5名)				
長友紗衣	松尾美佳	石尾千穂	熊谷早織	西村優

津多羅島(4名)			
重富美希	森谷志帆	尾畑郁美	洗川沙希

さんさん富江キャンプ村 場内マップ



見学予定施設

①長崎県五島中央病院

五島中央病院は 304 床を有する下五島地区の地域中核病院です。1 次から 2.5 次まで幅広く対応しており、多くの患者さんが外来や入院で来られます。検査設備も充実しており、文字通り地域の中心となっています。

②五島市長寿介護課

長寿介護課は長寿支援班と介護保険班との体制で、五島市の地域包括支援センターは市直営として運営しています。介護認定調査や介護予防事業の状況も本土地域とは異なる面もあり、離島地域の現状を学んでいただきます。

③特別養護老人ホーム只狩荘

社会福祉法人さゆり会が運営している特別養護老人ホームです。高齢化が進んでいる五島市においては、シームレスな医療や福祉の体制づくりがとても重要であり、只狩荘もその中で大きな役割を果たしています。

④聖マリア病院

聖マリア病院は宗教法人お告げのマリア聖母会が運営する 99 床の病院です。急性期から慢性期まで幅広く患者を受け入れ、同法人が運営する特別養護老人ホームマリアの園とも密接な連携がとられています。

⑤長崎県奈留医療センター

数年前までは奈留病院という 53 床の病院でしたが、奈留島の人口減少やなるの里などとの島内での連携体制により 19 床の診療所となって現在に至ります。一つの島の医療全体を担うという離島ならではの医療が体験できると思います。

⑥久賀診療所

二次離島である久賀島はかつて人口が今の 10 倍以上もいた時期がありましたが、徐々に減少してきており高齢化も進んでいます。一方で世界遺産登録を目指している教会や美しい自然など、二次離島ならではの魅力にあふれています。

⑦伊福貴診療所

二次離島である人口約 150 人の椛島にある診療所です。同じ二次離島である赤島や黄島にも出張巡回診療を実施しており、五島中央病院をはじめとする福江島内の医療機関とも密接な連携が図られています。

地域体験実習

実施日時：8 月 22 日(火)　12:30～16:00

セミナー3 日目の午後にはグループに分かれて、五島ならではの体験をして頂きます。以下のコースを企画しましたので、希望するコースをお知らせ下さい。(移動や準備の関係上、第１希望のコースにならない場合もありますが、地域を体験できる貴重なチャンスですので、楽しみながら参加してください。)

A コース

「五島の海を満喫しよう～海水浴でエンジョイプラン～」

夏の五島にはエメラルドグリーンの美しい海と白いビーチが広がっています。夏の五島でしか体験できない素敵な海水浴を楽しんでみませんか。海に入らなくても砂浜でのフィールドアクティビティーも体験できます。(参加者は水着などの海水浴グッズを忘れずに持ってきてください。

B コース

「五島の景色を楽しもう～充実のドライブプラン～」

大自然という表現がピッタリとあてはまる五島市。美しい西海国立公園の景色や世界遺産への登録を目指している歴史ある教会群、その他にも魅力がいっぱいのこの島で、夏のドライブを楽しんでみませんか。(車の関係上、人数に限りがあることをご了承下さい。)

C コース

「五島の癒しを楽しもう～やすらぎの温泉プラン～」

鬼岳温泉は五島のシンボルでもある鬼岳の豊かな自然に囲まれた天然温泉です。地元の人達からも愛され、露天風呂や内湯、うたせ湯、サウナなど多彩な湯船が揃います。近くにある五島ワイナリーの見学も楽しみの一つかもしれません。(車の関係上、人数に限りがあることをご了承下さい。)

注意事項

・この冊子は事前によく読み、当日は必ず持参してください。

・集合時間には遅れないように気をつけてください。

・学生証を必ず持参して下さい。身分証明書および学割のために必要です。

・保険証を必ず持参して下さい。コピーでも可です。

・班編成および宿泊割を必ず確認しておいて下さい。

・未成年の喫煙と飲酒は法律により禁止されています。未成年者の酒類およびタバコの持ち込みも、飲酒または喫煙であるとの誤解を招く恐れがあるため控えてください。

・20 歳以上の方でも止むを得ず喫煙する場合は指定場所のみで行って下さい。また火気の管理には十分注意を払ってください。

・懇親会等において未成年者や車で移動するスタッフへは絶対に飲酒を勧めないでください。

・施設見学および五島市への表敬訪問の時、スーツなどは必要ありませんが、大学生として良識ある格好を心がけて下さい(半ズボンやスリッパなどは厳禁です)。

・何かトラブルが発生した場合などは直ちに近くのスタッフに声をかけるか、下記までご連絡ください。

長崎大学離島医療研究所：0959-74-2673
担当教官 小屋松 淳：080-5217-8057
山梨 啓友：090-3770-0678
前田 隆浩：090-9582-7697

富江バラモン会および倭寇太鼓について

ウェルカムレセプションで公演して頂く「富江バラモン会」はキャンプ村のある五島市富江町を拠点として太鼓を中心に様々な活動をされています。近くには倭寇の拠点だったと言われている「勘次ヶ城」もあり、その勇猛さと当時の倭寇のくらしを太鼓によって表現しようという思いから、演奏曲目全部を総称して倭寇太鼓と呼ばれています。

また、団体の名称であるバラモンとは、五島の方言で荒くれ者とか、とっても強い人のことを言います。まさに倭寇そのもののイメージであることから名付けられています。

ホームページやフェイスブックもあります。

ぜひ検索してみて下さい。

第5回 長崎地域医療セミナー in GOTO

「しまで学ぶ！感じる！つみあげる！」

地域包括ケアの必要性が広く認識され、保健・医療・福祉の連携と現場での教育が重要視されています。長崎大学では地域での活躍を志す学生さんに医療や福祉を通じた地域との早期の関わり合いを提供し、離島やへき地で貢献できる人材の育成を目指しています。

「第5回長崎地医療セミナー in GOTO」の開催にあたり、地域医療への情熱を持った参加者を全国より募集します。下記の応募要項を確認のうえお申し込み下さい。

日　時：平成29年8月20日(日) 11:00 ～ 22日(火) 16:00 (2泊3日)

会　場：長崎県五島市富江町「さんさん富江キャンプ村(宿泊)」および「富江町公民館(講義・実習)」

対　象：長崎大学医学部医学科 1～3年生・長崎純心大学福祉系学科 1～4年生

地域医療や地域包括ケアに関心のある全国の医療福祉系学生

費　用：10,000円 (宿泊費および食事費用として・五島市までの交通費は各自でご負担ください)

【主な内容】

五島市内の医療機関や保健保健・福祉機関の見学

地域医療・地域包括ケアに関する講義・実習・ワークショップ

その他、夏の五島ならではの楽しいイベントも多数企画しています。

【募集要項】 所属されている大学の授業や実習等に支障がないことを確認のうえ、電話もしくは電子メールにて必要事項をご連絡ください。また、途中参加などの希望にも可能な限り対応いたしますのでご相談ください。なお、学年や所属学部の制限はありませんが、内容としては長崎大学医学部医学科1～3年生および長崎純心大学福祉系学科1～4年生を対象としたものが中心となることを予めご了承下さい。

募集人数:8名(学外参加として)
募集期間:6月30日(金) 17:00まで (希望者多数の場合は早めに締め切る場合があります)
必要事項:氏名(フリガナ)、性別、生年月日(年齢)、所属大学、学部、学科、学年、
郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス、地域医療や地域包括ケアへの意気込み(自由記載)

［連絡先］ 〒853-8691 長崎県五島市吉久木町205番地 (長崎県五島中央病院内)
長崎大学 離島・へき地医療学講座 離島医療研究所
TEL：0959-74-2673　FAX：0959-74-2635　E-mail：natsuki-nohara@nagasaki-u.ac.jp
担当者:野原 夏樹

主催：長崎大学、長崎地域医療セミナー実行委員会

共催：五島市、五島医師会、長崎県五島中央病院、長崎純心大学医療・福祉連携センター

【編　集】

長崎地域医療セミナー実行委員会

委員氏名	所　　属	役 職
浦 繁郎	五島医師会	会 長
村瀬 邦彦	長崎県五島中央病院	病院長
出口 法隆	五島市国保健康政策課	課 長
浜脇 清市	五島医師会	事務局長
前田 隆浩	長崎大学 離島医療研究所	所長・教授

【発　行】

長崎大学医学部

〒852-8523　長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号

TEL: 095-819-7010